

## 「研究発表Ⅱ」

講演者 P T A会長：森山弘子、副会長：濱中弘子・山本雅子、  
書記：金成由紀子・内藤聖子、会計：竹下友子、巻野和美

学校名 神奈川県立麻生高等学校

研究テーマ 「立候補したくなる P T Aにするために」

### 1 はじめに

#### (1) 学校概要

本校は 1984 年に創立し、昨年記念すべき 40 周年を迎えました。川崎市北部の閑静な住宅街に位置し、落ち着いた環境の中で教育を行っています。隣接する小学校・中学校や町内会との交流も盛んです。小学校ではチア・リーディング部がパフォーマンスを披露し、メディア研究部がスマートフォンの正しい使い方講座を開催しています。中学校ではバスケットボール部、バレーボール部、陸上部、剣道部等が合同練習を行い、縦の関係づくりが進められています。町内会では、野球部がどんど焼きを手伝い、町内会祭りでは音楽部がステージ出演し、料理部がお菓子の販売を行うなど、地域の方々から温かく見守られています。また、芸術教育にも力を入れており、音楽の授業ではバイオリンとギターを 1 人 1 台使用し、美術の授業では陶芸の時間があります。陶芸窯が 2 基設置されているのは県立高校では珍しいことです。

#### (2) 部活動紹介

メディア研究部では全国大会となる NHK 放送コンテストに出場し、創作ラジオドラマ部門にて奨励賞を受賞しました。文芸部とチア・リーディング部においては全国大会に出場するという好成績を収めています。11 月に開催する 40 周年記念式典では、吹奏楽部と音楽部が昭和音楽大学オーケストラと共演するという貴重な体験をします。



### 2 P T A活動

本校 P T A は本部役員と学年委員会、安全委員会、広報委員会で構成されています。

#### 本部役員

会長 1 名、副会長、書記、会計がそれぞれ 2 名、合計 7 名の役員がいます。体育祭では、生徒にペットボトル飲料の配付と、防犯対策として保護者へリストバンドの配付・着用を行いました。冷えた飲み物は生徒たちに大変好評でした。文化祭では校章入りどら焼きとおせんべいを販売し、P T A 活動を紹介するなど保護者の方との交流ができました。また伝統的な活動として年 3 回、登校時間のあいさつ運動があり、生徒の様子を知る良い機会となっています。



### 学年委員会

味噌づくり講習会と演劇鑑賞会を開催しました。味噌づくりは地域の麴販売店の方に講師を依頼し、手作りの楽しさを体験できました。参加申込の多い人気企画で、毎年恒例となっています。

### 安全委員会

自転車点検や通学時間中のパトロールを年数回行うことで生徒の安全を守る活動をしています。文化祭では景品付きの交通安全クイズを企画し、生徒や保護者への交通安全意識を高めています。

### 広報委員会

広報紙を年3回発行しています。楽しみにしてくれている生徒たちのために、締切に追われながらも日々製作活動に励んでいます。



## 3 研究テーマ「立候補したくなるPTAにするために」

### (1)テーマに至る経緯

今年度の委員選出では、立候補者が少なかったため入学式後のPTA入会式にてくじ引きを行い、欠席者のうち選出された方には手紙で意思確認を行いました。すると欠席者全員から委員引き受けをお断りされるという残念な結果となりました。くじ引きは役員にも先生にも心の負担が大きく、委員を引き受けた方からは「くじ引きに参加していたから断れなかった」という声も聞かれました。そこでくじ引きをしないで済むよう立候補者を増やしていこうと役員間で話し合いました。まず引き受けたくない理由を考えてみると、「仕事がある」「活動がわからない、見えない」などが思い浮かびました。そして引き受けた理由を現役員で出し合うと、「知り合いをつくりたい」「学びをサポートできる最後のチャンス」「学校の様子を知りたい」「役員を経験していたから」ということが挙がりました。そこから気づいたことは「PTA活動が嫌いではない人、立候補するほどではないが誘われたら受けようと思っている人」は少な

らずいるはずだということでした。そういう方が立候補してくれるような取り組みを考えようと話し合いを重ね、思いついたことから実践していきました。

### (2)取り組みの紹介

今年度始めた4つの取り組みをご紹介します。

#### 【①保護者向けのバイオリン授業体験】

かねてからバイオリンを弾いてみたかった役員からの提案で企画されました。音楽の先生に普段の授業と同じ内容で行っていただき、ほとんどの参加者が初心者でしたが「キラキラ星」が弾けるほど上達しました。参加アンケートの一部をご紹介しますと、「バイオリンに触れる機会は一生ないと思っていました」「音楽の先生の授業は面白いと子どもから聞いていましたがその通りでした」「来年もまた開催してほしいです！PTAの皆さんに感謝です」と大好評でした。生徒を惹きつける先生のお人柄を知ることができ、役員自身も心から楽しめたイベントとなりました。

#### 【②制服リサイクル】

以前より保護者と学校から要望があり、今年度から始めました。思っていたよりも多くの制服が集まり、来年度入学予定者を対象に安くお譲りする予定です。

#### 【③PTA室の片づけと活動資料の整理】

引き継ぎをしやすくするため過去資料の整理やファイリングを工夫し、誰が見ても理解しやすい資料を意識して作りました。また探し物をしないために必要のない資料や物品を廃棄し、取り出しやすいようボックスに入れるなど収納を整えました。片付けや整理整頓は当たり前の事とはいえ後回しになりがちでしたが、頭の中も気持ちもすっきりし、心地よく活動ができるようになりました。

#### 【④「PTAかわら版」の作成・配付】

これらの初の試みを保護者に伝えたいと思い作成しました。バイオリン授業体験がとても喜ばれたこと、私たちが楽しく活動できていることなど、広報紙では伝えきれない内容を盛り込みました。活動が見えるとイメージが湧き、親近感が出てPTAに入ってみようかなとハードルが下がる

かもしれません。近々第一号を配付し、その後PTA活動紹介号を発行する予定です。来年度入学予定者への配付資料にも加えていただくことになっています。



### ③取り組みから見えてきたこと

4つの取り組みを実践することで「立候補したくなるPTA」の形が見えてきました。

#### 【①保護者向けのバイオリン授業体験】

顔の見える関係づくりができ、PTAに親しみをもってもらえます。またPTAは活動を通して想いを実現できる場だと知ってもらい、PTA活動に魅力を感じてもらいたいと思っています。

#### 【②制服リサイクル】

こちらは学校と保護者の要望から実現した企画でした。保護者からの意見を聞き実現に向けて検討していく体制を整えていきたいと思っています。こうすることでPTAに関心をもち必要性を感じてもらえるのではないのでしょうか。

#### 【③PTA室の片づけと活動資料の整理】

環境を整えることで心地よく効率よく活動できます。感覚的なことは実は大切で「続けてもらえるPTA」につながっていくと思います。

#### 【④「PTAかわら版」の作成・配付】

活動の報告はもちろんのこと、私たちがどんな想い、どんな目的をもって活動しているかを心を込めて伝え、「PTAは活動を楽しめる場」というイメージをもってもらえるような紙面づくりをしていきます。

### ④今後の活動

これからは活動の見直しに着手していきたいと思っています。

- ・委員の人数が減ってもできる形に変えること
- ・その活動は必要か改めて考えること
- ・役員や委員自身がしたいことを提案し、実現に向けて行動すること

このようなことを進めるために役員と委員のコミュニケーションを密にし、一体となって取り組んで行こうと考えています。

### ⑤まとめ

発案をして実行し、発信すること。そして現活動を見直すこと。これを軸として【立候補したくなるPTAにするために】行動していきます。

## 4 最後に

活動を通して感じたことは、PTA活動は自分自身を成長させてくれる体験だということ。自分が得意なことや役立てる喜びを感じたり、仲間の才能を知ったり、先生や仲間への感謝を感じたり、自分の幅を広げてくれます。また保護者が楽しんでいる姿は学校の温かい雰囲気をつくることにもつながり、それが生徒へも伝わっていくのではないのでしょうか。

そして先生方のご協力の大きさに私たち役員は改めて気づきました。バイオリン体験の相談にも乗ってくださり、体育祭のリストバンド発注やどら焼きの手配、PTA室の予約もしていただき…お忙しい中すぐに対応してくださいました。先生方がPTAを大切にしてくださっていること、私たちだけではここまで来られなかったということを今、しみじみと感じています。

先生方に心から伝えます。

「いつもありがとうございます!!」

